

令和3年6月4日（水）

吉永地区5支部説明会（令和3年6月4日）要旨

【凡例】○は意見、質問 →は教育委員会の返答

○根方街道（県道22号三島富士線）や沼津線（県道163号東柏原沼津線）の自転車通学は、交通量が多いので、自転車通学を許可するとなると非常に危険である。また、かなりの通学距離になる生徒がいることも事実である。通学方法としてスクールバスの運行などは、考える会では議論にならなかったのか。

→考える会では、スクールバスの運行を希望する意見は出ていない。しかし、近隣道路の交通量の多さについては危惧している。スクールバスの運行が適切かどうかも含めて検討をする必要があると考えている。

○考える会の開催は、まだ3月23日の1回か。

→そのとおりである。

○考える会はどのような位置づけか。

→あくまで意見聴取のための会である。考える会以外でも、まちづくり協議会や保護者会、地域の説明会などで意見を伺っている。また、メールや電話、窓口でも意見をいただいている。伺ったすべての意見を参考にして、最終決定は教育委員会が責任をもって最終決定を行う予定である。

○当事者である子どもたちから意見を聞くことも必要かと思うが、アンケートなどで意見を聞く機会を実施することは考えているか。

→各説明会で同様の意見をいただいたが未実施である。賛否両論あることや、提案の段階である状況で、子どもたちにアンケートを実施することが適切かどうか、慎重な検討が必要であると考えている。アンケートの回答によって、子どもたちが責任を感じることがないようにしなければならないし、アンケートの文言だけでなく、アンケートを実施する意義について説明や実施方法にも十分な配慮が必要になる。

○スクールバスが運行するには、ある程度まとまった人数の利用が必要になるだろう。各家庭による送迎も認めてほしい。また、通学に時間がかかることが予想されるので、部活動の終了時刻も考慮してほしい。

→学校では、季節に応じた日の入り時刻と、各校の通学区域を考慮して下校時刻を決めている。編入が決定した際には、通学区域が広がることを考慮し、下校時刻の検討を依頼する方向で考えている。また、スクールバスは利用者がある程度そろわないと運行ができない。早退や遅刻などにも対応が難しいと考えられる。自転車通学に関する

る交通安全は、通学路を決めたうえで、警察を含め交通安全協会やPTAなど各諸団体に協力を仰ぎたい。また、根方沿線の他校の様子や、自転車通学をしている元吉原中の様子なども参考にしたい。

○現在、吉原第三中学校は何クラスか。また、仮に吉原東中学校が編入するとどのくらいの規模の学校になるのか。

→現在の吉原第三中学校は、3年生が3クラス、2年生が3クラス、1年生が2クラス、特別支援学級の知的学級が1クラスである。そのため、吉原東中学校が編入すると各学年3～4クラスの学校になると思われる。

○進級するときに編入する学年がどうしても存在する。学習面で問題が生じたりすることはないのか。また、新1年生は最初から順次吉原第三中学校に入学し、すでに在籍している在校生は卒業するまで吉原東中学校を存続させることはできないか。

→そうした対応も考えられるが、吉原東中学校に残ることになる学年の負担が大きくなる。特に最終学年は、そもそもの生徒数が少ないうえに、異学年も存在しないことになり、様々な価値観と出会う機会が極端に少なくなることが予想される。一斉に編入する場合と、順次編入する場合とで、十分な検討が必要になると思われる。

○編入統合が決定すれば、交流活動を進めていくと聞いている。前述した順次編入する方法をとれば、スムーズな編入が可能となり、受験期の編入に心配をしている保護者も安心できるのではないか。最後の学年は、吉原第三中学校と交流活動を実施することで対応するという方法も考えられる。

→教育委員会も検討をした案ではあるが、最後の学年の負担が大きいと考えている。交流活動も毎日行えるとは限らない。また、交流活動は当日だけでなく、それまでの準備や打ち合わせが欠かせない。そうした点で考えると、交流活動は行事に近いものであり、日常的なかわり合いとは、大きく異なる。

○学校統合の件について、他の市区町村の担当者の話を伺ったことはあるか。

→学校統合を行った各市町村のウェブサイトには、統廃合に至ったプロセスが載せられていることが多く、参考にしている。例えば、下田市は市内に4校あった中学校を、市内1校に統合した。沼津市も統廃合を進めていると聞いている。他にも小小が一緒になる例や、中中が一緒になる例など様々であるが、統合に至るまでの背景や地域の事情がそれぞれ異なる。この地域は、同じ小学校で学んでいた友達が別々の中学校に行っているという、全国的にも少ない事例と思う。島しょ部のように、生徒数が少なく統合はしたいが、現実的に不可能という事例とは異なると考えている。

- 原田地区ではこうした説明会は実施しているのか。
→地区ごとの説明会は実施していないが、まちづくり協議会総会で話をさせていただいた。また、原田小の保護者にも、編入統合についての広報誌を配布した。さらに、地区の回覧板でも広報誌の回覧を依頼した。
- かつて、吉永第一小学校の少し北側で、小学校6年生が自転車に乗っていたところ、ブレーキが効かずに事故を起こし、頭部に大けがを負ったことを記憶している。高校生の自転車の乗り方を見ていると、とても交通安全に気を付けているとは言えない現状である。警察に言っても、色よい返事はなかった。交通に関するルールのことや通学路のこと、自転車の安全整備に関することなども含めて指導をお願いしたい。
→「根方街道が特に危険である」ということであれば、根方街道の南側に駐輪場を設けることも考えられる。様々な諸団体の協力があっても、絶対に交通事故を起こさないというのは難しいが、安全に対する指導や支援は徹底していきたい。
- 吉原東中学校は、吉永地区の伝統芸能の「富士岡神楽」と「大龍の舞」を授業で取り扱っている。そうした活動は編入後も授業で取り扱っていくのか。
→総合的な学習の時間に扱う内容は、子どもたちの様子や地域の状況に合わせて各学校が決めている。教育委員会で指定することはできない。
- 自転車通学が行われている学校では、ヘルメットの着用が義務付けられているのか。
→ヘルメットの着用は義務化され、保険への加入状況も確認している。また、登下校に使う経路も決まっている。距離が遠い場合、自転車通学だけ許可しているのではなく、徒歩による登校や自家用車の登校も認めている。
- 最短で令和5年4月から学校が統合される計画だが、保護者への説明はどのようにするか。
→各説明会や考える会で話し合われた内容については、ウェブサイトや回覧板などを使って広報していきたい。また、保護者だけでなく、地域にも同時期に広報していく。教育委員会で決定したことがあれば、同様に広報していく。
- 子どもへのケアは、学校や行政がやるのは限界があるので、保護者にも協力を仰ぐ必要があるだろう。また原田地区にも説明をお願いしたい。
→積極的に行っていきたい。